

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ ( / )
項目名 こうま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0724.12	kokkomma <多>	komma, mma nokokko
0737.94	to <sup>h</sup> ne <sup>1</sup> おめめおの区別はない	
0747.70	to: <sup>d</sup> zai, } <今> to:sai	kokkomma
0779.03	to <sup>h</sup> ne <sup>ko</sup> <今, 多>, ko <sup>h</sup> ma <めすめす共に 子の馬の叫び>	
0789.95	toneko <生れた年だけ>	
0894.61	to <sup>h</sup> ne <sup>ko</sup> , } <今> to <sup>h</sup> dza <sup>i</sup>	kokkomma
1763.60	コ <sup>h</sup> コ <sup>h</sup> マ <多>	トオサイ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	④ 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ ( 2 )
項目名 こうま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1816.52	トオヤツイ 多い	コッコ
1863.48	トネッコ 〈多い〉	トネ
2608.90	トネコ 〈多〉	トナイ
2722.67	トネコ (多), トヤツイ (新)	
2751.10	トネコ 〈多〉, コッコマ 〈カ〉	
2772.05	komma 〈?〉	
2782.67	to~dze: こて生ネトハはかりあは malmao	
3649.64	kokkonma 録音不明	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	( 3 )

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3730.43	toneko 馬を飼音している人達か使う。	mmake
3736.03	ト-ネコ (右)	ト-ジエコ
3741.16	tōnē'kko éは狭い	
3757.09	to:ne(ko) 〈右〉, ? ūma'nōko	
3760.93	to <sup>nd</sup> zako 〈=材は mmake〉	
3762.85	tōdzako (当才子)	makko
3783.08	be <sup>k</sup> ko 〈「小才子」の意味〉	tōnekko
3791.02	<sup>コ) 榎</sup> kokkomma <sup>コ) 榎</sup> mmake	
4589.83	to:zai 〈希〉	tʃinko

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	④ 普通注記	ページ
項目名 こま		〔B 除いた共通語〕	(4)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4637.20	#mmakko 〈放牧中に大抵生れりであった〉	
4639.10	to:dzakko 〈馬喰のこま〉	mmanoko
4647.69	!o:doko (古く用いた語と似)	komma
4647.87	? t̄t̄ēz̄	
4648.04	[to:zaekko]	mmanoko
4653.02	mmanoko, *meyko	
4653.47	#komma (komma というより外なと語えた)	
4657.64	? komma	
4663.06	to:zɛ:(mna) — とま時(に)言(う)	komma

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  ( 5 )
216	204		
項目名			
こう木			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4663.49	mmajko 〈(馬子)くらしか いわない〉	
4663.92	kōmma ここにはいない。大きくなってから入る。 共通語としては kōmma	
4665.87	mma no ko 〈斬〉, orojko 〈古〉〈明治時代は馬が多く居て、農家で馬の子を飼(産卵)事が多かった。〉	
4667.33	コマ 木コマ 雄の子馬, オコマ 雌の子馬	
4678.77	to:neko (「外に言い方はありませんか」の句に好む反応。)	mma kko

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
216	204		
項目名		〔B 除いた共通語〕	( 6 )
こうま		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
46 86.52	* mmakko 〈(初め komma と答え、as訂正) 〉 〈生れたはかしの馬を言う〉 to:zaekko 〈古〉 生後5〜12ヶ月ぐらゐまでの馬。 一才馬のこと。	
46 86.96	? to:zaetko	mmatko
46 87.37	to:zae } 〈両方とも幼いころに使った〉 [toneko] } [「to:zae」は馬の売買の便宜から]	
46 94.26	kouma (改まった場合の発音たろう)	
46 95.87	to:zaetko } (「外音い方はありません」の内に to:zae } 対応反応。)	
46 97.92	to:neko 〈皆便、ずる〉 to:dae mmakko	

3着全てを便、ずるという意味か  
 to:nekoをみんなが使っているという意味か 不明。可成。

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (7)
項目名 こま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4701.14	to:zemma <2才前の子馬>	
✓ 4703.18	komakko' <牡の子馬> dammakko <牝の子馬>	
4712.16	tōdzae <新> } 1才前. 2年目は nise: tōnekkō <古> } 3年目は sansae	
4712.54	to:dzaekko } 馬にだけ使う. to:dzae <略(204子)>	
4713.60	to:dzae (これだけで馬だとわかる)	
4714.22	tō:dzaekko <1年目の馬>	
4715.33	to:dzaikko (1年目の馬だけ)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	( 8 )
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4715.98	kommakko (214の komma と紛らわしくなるし) *kokkomma	
4723.58	kouma, komma (粗雑な発音では <sup>komma</sup> komma となり、 オウマと同音異義をなす。)	
4724.00	tonekko <1才のものだけを言う。2年目のものは nise:kko >	
4725.86	tsakemma (小さい馬から来たもの), kokkomma (子馬から来たもの)	
4725.92	<u>kouma</u> (ほつきりしたウであった。214と 紛らわしくなるのをさけたのか?)	



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (9)
項目名 こうま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4733.91	to:dze:ko 〈生後1年目までの子馬〉	
4734.20	todze:ko 〈当歳の馬だけ〉	
4734.56	tōdze:kko 〈今年生れたということを示す〉	
4742.43	to:ze:kko 〈今年生れたのみに限る〉	
4742.95	tōdze:ko 〈今年生れたものだけを指す〉	
4743.61	tōdze:kko 〈これは普通はそれほど使われない。主に馬喰などが使う〉	
4743.95	umakko 〈これは生れたの1年以内の仔を表わすに決っている。〉	
4744.10	tonekko 〔komma〕	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (10)
216	204		
項目名			
こま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4751.42	(komma) 此馬かいなからたのこ子馬もいす。 従って接尾の叫び名なし。	
4752.11	kokkomma < 子供9馬 >	
4752.27	to:dze:ko < 正確に1年目を表す場合 >	
4760.98	to:zeæko < 多 >	to'neko'mma
4762.56	to:dze:kko < ? >, mma'kko < 子馬の意。東北地方はうに ここは 接尾辞のこをつけない。このこは子 の意である。 >	
4762.77	to:zaekko < 古 >	mma'kko
4763.62	to:dze:ko < 今年生れたといふことを強調するとき >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買冊番号 216	地図番号 204	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (11)
項目名 こま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4773.15	≠ to:neko 〈古〉	mmanoko
4780.64	to:zekko 〈新〉, to:neko 〈古〉	
5527.89	tjimmanko 〈古〉	komma
5568.57	トオサイコ 馬に限らない。とし生れた馬、牛、羊なども言う	
5577.88	トオサイ 〈今年生れた仔という意味。ウシトオサイ と言うふうには牛の場合にも使う。〉	コマ
5579.42	to:nep 〈文化的なことば〉	ko'mma
5579.79	? トオサイ	コマ
5588.78	ネンネマ (まだお乳から離れないような甘えん坊を ネンネマかネンネマという。ネンネマはお乳 から来たものだろう。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買付番号	地図番号	① 普通注記	ページ
216	204		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(12)
こうま		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5588.81	* to:dzai	
5597.78	トオサ <sup>イ</sup> 〈コマは子ども馬であり、トオサ <sup>イ</sup> は 1才馬ということで、意味はケシ(馬)〉 〔 離乳して大きくなるだけ トオサ <sup>イ</sup> と 呼ぶようになる。 〕	
5609.26	ko:ne eは狭ne	
5612.22	? komma	
5612.98	komma, 〔*〕mmanoko (この方の旧来の言い方である)	
5613.33	*mmanoko (はしり kommaと言った後、訂正した)	
5613.48	to:ne to:nekkoko } (こし生れた馬)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (13)
216	204		
項目名 こうま			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5613.53	to:zal 今年生れたもの。	
5614.24	to:ne to:nekkō } 多<用い3.	
5615.74	[* to:nekkō]	
5619.67	トネメ (メは接尾辞)	
5621.43	tjigko <古u. 今も使う>	
5623.27	to:ne 〔 to:zai 〕	
5625.91	to:ne # [to:zai]	
5626.99	トネロコ <バコロオガノシヨオニ>	ウマコ
5628.23	to:ze*kkō <生れたばかり>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

買用番号 216	地図番号 204	③ 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	(14)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5629.17	トオネッコ 〈多〉	トオサエッコ
5629.23	トオネ 〈多〉	コウマ
5629.98	トオサエ 〈馬・牛ともにう〉	トオネ
5631.16	[to:nekkō]	
5636.74	トオセエ 〈新〉	トオネッコ
5638.53	トオサエ 〈その年に生れた馬にも牛にもい〉	
5638.54	トオネッコ 〈生れた(2009年時 音)〉	
5641.94	to:ne 〈古〉	
5646.39	トオネッコ 〈多〉	ウマッコ
5648.13	!ko:nekkō (K 自音なし)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	④ 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(15)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5655.57	トオネ, } <稀> トオセ	コンマ
5658.54	トオカエ <ニヒ生れたばかりの馬,牛ともいふ>	
5661.34	to:dzai <上>, to:nekkō <馬だけに言う>	to:dze
5661.68	kouma <近隣の村では to:nekkō と言っていた>	
5663.09	[#] to:ne <多>	to:dzai
5663.64	to:zae <来年は nisekko, 次の年は sandzekko>	
5663.68	[to:nekkō]	kouma
5666.18	トオネ <少>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	③ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (16)
項目名 こうま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5669.96	komma (誘)to:(d)zae	
5671.00	kouma < to:nekkō と書いた人もあり >	
5671.38	to:nekkō < 古 >	kouma
5672.52	kouma < 普 > to:ne } < 希 > to:dzai }	
5676.28	josai < 初歳の意か >	
5677.14	to:zai おすめす 区別なし	
5678.59	kōmma < 普 > to:zai < や、専門的 >	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(17)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5678.71	? mmanoko, ? komma	
5679.86	to:ne, (菟) komakoro komma	
5680.34	to:ne I トンコ <sup>科。</sup>	
5682.37	kondo:ne 〈古〉	
5684.26	[to:ne] 〈(馬にとりて初めの子は uino と書)〉	
5685.02	kouma (これは馬を飼わない所なためかまは(ともよ)した。)	
5687.32	トオサ <sup>イ</sup> コ 〈特に馬と限らないか〉	
5688.37	* NR 被調査者の言によれば昔はあたらしいと云。 しかし思い込ませられた。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ (18)
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5692.53	do:jaku (自信があって「はかに」と言うこと)	
5693.13	コマンホオ 〈古〉	トオネッコ
5694.82	トオサイ [稀]	トオネッコ
5696.13	コウマ 昔〇今×	
5697.24	コンマ × (今 部落にはいないか)	
5699.25	to:zaikko 一昨年ごろから馬を飼っている人がいなくなった。但し馬を見ないと言うのではない。	
5700.28	to:zae 〈多〉, to:nekkō 〈少〉	
5720.34	トオサイ 1才まではトオサイともいう。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(19)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5720.71	トオネ 多.	ジヤキ
5731.13	toyko, } (小さい) toykome }	
	to:ze: } (やや大きい) to:ze:kko }	
5741.25	to:nekkō 〈to:ze:という人もある〉	
5741.66	[to:zalme]... 1才	
5750.31	トオカエ <small>エ</small> 当才の意か。小牛の意味にも使う。	
5751.60	komma (この地方では一般には馬を飼って いないか? 被調査者の家だけは飼って いる。)	
5752.32	komame (須和岡では馬を飼っていない)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
216	204		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(20)
こま		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5761.77	komma (馬は飼っていない)	
5780.11	koma 〈2才くらいまで〉	to:(d)ze:
5780.57	to:(d)zae (誘)	
5781.22	kodomo, — この方が普通. komma	
5782.25	komma (市街地外なので馬は飼っていない)	
5782.79	to:ze:ko 〈妻同語の感あり〉	komma
5790.03	to:zekoro いて言えはこれ。— 念のため—	
5790.39	to:ze: 念のため。	
5790.79	to:zekko しい言えは……。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(21)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5791.68	komma 〈?〉	
5793.74	komma, * kodomomma 〈多〉	
6339.86	トネンゴ (当年子なん)	
6357.38	コマ ?	
6358.87	〈?〉 コマ	
6366.24	NR 〈こらでは背 <sup>ま</sup> めからわかしぬ〉	
6367.09	〈?〉 コマ	
6367.73	NR 〈子を飼 <sup>め</sup> わかしわかしぬ〉	
6376.33	horo (おまめ <sup>め</sup> 別名なし)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	( 22 )

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6384.25	umanoko kouma ) この村に居たことがない。	
6386.66	? kouma	
6389.59	コマ ( 疑わし )	
6395.46	トオサイバ < おおは トオサイバノオス, めすは トオサイバンヒンバ という。 >	
6395.61	komma ① kouma	
6396.08	? kouma	
6398.42	NR < 子馬のおらぬから呼び方を知らない >	
6411.33	コマ < ? >	
6411.66	コマ < 希 >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の「>」「<」「」は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(23)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6412.91	koma <?> 馬を飼ったことなし	
6413.10	ma (昔は附近に飼っていたらどうか、この被調査者は詳しくはうた。)	
✓ 6413.76	マゴ (めす), コマゴ (おす)	
6420.34	ハハレコ <牛馬共に言う>	
6423.23	dago ややおかしいか マゴを記憶しずる。	
✓ 6423.75	dago <雌>, komago <雄>	
6424.35	<del>マゴ (めす)</del> <del>コマゴ (おす)</del> 次頁へ →	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

頁目番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(24)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6424.35	mmanoko { コマゴ(あず) ダシマゴ(あず)	
6424.92	mma, コ (急ぎ手紙) コマゴ(あず) ダゴ(あず)	
6439.17	mmanoko < 馬を見たことかないか とういうか >	
6439.77	コマ どのでけ 生きたらどう	
6443.00	? 一地図にはNR.	
6463.02	トオサエ 注: 馬。3匹: の? 冊	
6464.23	? コマ	
6467.73	調査してない ①kouma	
6479.51	mmanoko < 別に名があつたか 失念 >	
6485.30	コマコ < 生れ2年目に入った馬はニサイ。3年目のはれはサンサイという。普通ニサイから仕事に代せたり。教えこんたりする(シムとま)。サンサイ、ニサイなどともいう。 >	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	(25)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6485.46	トオサイモン (當歳物である)	
6486.93	コハ < 右佳、此佳の区別をしない >	
6487.43	コマ < メンはおめめ子、オンはおおめめ子 >	
6487.66	ンマコ < 別にことばがあるか どうしても思いあせなかった >	
6509.38	ヒッコ < 当歳の仕馬に限って使われている >	
6516.15	コマ < 1年向ほとはコマと叫ぶ >	
6517.31	<他>? コマ	コマ
6517.70	? コマ	コマ
6526.04	トオサイ < 仔羊、仔牛などにも使う >	コマ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。  
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (26)
216	204		
項目名			
こま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6526.08	〈希〉 コマ	コマ
6530.23	〈希〉 コンマ	
6539.12	bik'ko, bik'kōmma } 〈昔使った〉	
6545.41	NR 〈子馬はいないから、その呼び名は知らない〉	
6553.22	? ko: 〈別に特殊はないので: コー, (ク)マ (ク)マコー 〈らしいかわない。〉	
6553.52	umanoko: (別にきまって言い方はない)	
6559.46	to:zai 〈他の動物にも使う〉	
6571.34	mma noko: (「馬の子」の表現はない)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買付番号 216	地図番号 204	④ 普通注記	ページ
項目名 こま		〔B 除いた共通語〕	(27)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6575.40	[komma]	
6576.56	komma (〔共〕?) 馬は昔は少数いた。 今はいない。	
6580.66	? コマ	
6582.48	NK 小馬を見ることが昔もなかった。	
6583.41	koma (komma となく koma という発音。)	
6591.02	コマ (コマも用いる)	
6600.97	kobittso < 木曾福島から小馬を買って帰るを見 >	
6602.62	* to:ne	
6606.38	to:ne (当年), to:zai (当歳)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こま		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(28)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6607.03	-komma (「鯉、鯰」などは今年生れたものを [to:zai] というそうである。)	
6607.84	to:zai (「当歳」である)	
6608.22	コマ 昔○	
6609.05	NR 昔○今× <この地方では馬を飼わないのでわからぬ>	
6610.00	ビッコ <古希>	
6610.77	bikko <くはのことは bikko> to:zai bikko <少>	
6611.68	to:ne <おろろは komassai>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (29)
項目名 こま			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6613.07	トオネ……〈この方が多く使われる〉 トオサイ	
6618.46	コマ 今X	
6619.76	kouma toze: 「おす.あす」区別なし	
6621.34	bikko (小さい馬のこと)	
6621.94	to:ne'ko 〈雄の小馬〉	
6625.17	NK mesugadeta という答以外得られなかった。他の50才ぐらいの男に聞いた。kodomo(uma)と答えた。確定ではないから、カードに記入しない。	
6628.59	-kouma 〈一般に小さい馬のことも言う〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(30)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6631.60	to:zε: / 才太の じま	
6631.69	kombo: 牛にも言う。	
6635.87	(kouma)	
6641.97	koma 希	to:zai
6643.16	(kombo:)	
6643.72	希 to:zai 馬方と売買のとき使う。2年馬まで。	kouma
6649.13	? komma	
6652.30	(kouma)	
6657.96	hatsuyo (?) 〈馬に限らない〉	
6701.01	to:zekko 「あまのみ」区別なし。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (31)
項目名 こま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6702.21	to:ze:ko <古>	umano
6710.55	to:zekko } 「おすめす」 区別なし to:nenko	
6711.60	to:zekko, } 1年たつたところをいう。 to:ze <希>	
6720.23	to:zekko 「おすめす」 区別なし	
6721.33	toze: , } 「おすめす」 区別なし to:nenko	
7248.49	koma (正確めみたかくりかえしてこれを肯定)	
7279.65	コマ ぶんご雄,雌,仔の区別はしていない。 214~216は しいて区別すればと異なるに 言わねと求めて得た語である。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	③ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (32)
項目名 こま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 除いた語形とその注〕
7289.31	bebego (仔牛と同じ)	
7302.87	oronko, 〈昔はこの地方にも沢山いた。今は激減〉 oronoko	
7303.17	kōmma あまりいない	
7303.29	kōmma 〈居ない。この地方には〉	
7305.13	トオクイウマ 〈昔の馬の意〉	
7311.68	? ? kōmma	
7312.11	kōmma 〈居らない。あまりかわない〉	
7312.83	kōmma いない。昔 <sup>??</sup> ては kōmma.	
7316.65	? umagko	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) ( ) は要密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ② 共通語 ③ 特殊語	ページ (33)
216	204		
項目名			
こうま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7321.93	ワカンマ 土地には居らない。	
7324.96	komma いない。強いていえば komma.	
7326.41	do:de: ぬは2か多くほいる場合もある。	
7329.39	komma <komma でしょうな>	
7339.27	koumma <たまたま koumma を見ることかない>	
7347.55	NR (馬はいないところ)	
7353.03	to:ne (牛についてもう)	
7354.23	オハナツ オオメオオ共通, トオサツコ 牛・馬の子 共通	
7356.06	to:ne to:zai <希>	umanoko

- ▶ A・〔B〕・〔C〕などに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (34)
216	204		
項目名			
こま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7363.12	トオネゴ (今年生れの馬)	
7363.59	ンマコ <おす→タマゴ, めす→コマゴ>	
7363.85	ンマンコ, } おす→コマゴ めす→タマゴ コンマ, トオネゴ	
7364.34	コウマ } おすの小马<ホオ>, めすの小马<ヒン> コンマ	
7366.87	to:zai'go <新>	umaj'ko
7367.25	? mmanoko	
7368.32	komma (調査地区に馬はいない)	
7374.15	[ンマンコ]	コンマ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕などに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は緊密にする。

實用番号 216	地図番号 204	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (35)
項目名 こま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7376.62	to:ze 〈当才の馬に限る〉	
7376.68	to:ze 〈1年以内の場合〉	
7377.72	tozego 〈1年以内の馬の子〉	
7380.74	(?) ハパン 〈牛、馬の子共通〉	コマ
7382.01	kōmma 〈214と同じだ〉	
7383.83	コマ (雌雄の区別が不明な場合は <sup>コマコ</sup> コマコ <sup>ダマコ</sup> )	
7390.70	オロコ 〈希〉 〈や、古いことば〉	コマ
7391.44	ンマンコ 〈区別すれば、雄の子コマコ、 雌の子ダマンコ〉	
7396.53	tozego (当才子(tozaigo)ならぬ)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

買置番号 216	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(36)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7400.15	ko <sup>m</sup> ma 〈 だろうと思う 〉	
7401.18	horonoko 多	to:zai
7402.42	to:zai ( 当年生のことを現わしたおひ方たという )	<sup>m</sup> manoko
7403.21	ko <sup>m</sup> ma 〈 このころはあまり見かけないが、体折り 見ることもある。 〉	
7417.79	ko: ( komma の略 )	
7421.67	ko <sup>m</sup> ma ( < <sup>m</sup> ma が少いから ko <sup>m</sup> ma を見ることが 希である 〉と 言っていた )	
7424.67	[to:zai]	kom:a
7425.02	to:zaim:a ( 参考までに )	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (37)
216	204		
項目名			
こうま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7427.90	ko <sup>m</sup> ma 〈多〉	kouma
7500.66	〈?〉 コンマ	
7513.69	コンマ 〈子馬はいないからあまり使わない〉	
7523.05	NR 〈この地にはいない。どう言うか知らん〉	
7523.74	NK 馬は音いなかた。戦後最近お馬力用のかいた。	
8305.73	ko'uma たたし飼ってない	
8305.76	tonego 〈今年生れた当分の子馬〉	
8306.42	gimba 〈多〉	umanko
8323.59	〈古〉 { tone <sub>g</sub> tonego , 〈新〉 <sup>m</sup> manko	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

頁番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
216	204		
項目名		[B 除いた共通語]	(38 <del>74</del> )
ころま		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8324.26	tonego 〈古〉…〈今も使う〉	umajko
8335.83	toze (当の地方発音)	
8341.46	tonemma [写真の義]	
8342.35	tone 〈小牛, 小马 共通〉 tonego 〈丁寧〉	
8343.97	dadajko 〈児, 古〉	mmajko
8345.74	*tone toneを訂正, tonego 〈多〉	
8352.40	ko'majko ( ? は おけいのおりに思えるけれど正しい発音)	
8354.29	mmajko, 〈この方を多く使う〉 tonego	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	① 普通注記	ページ
項目名 こうま		〔B 除いた共通語〕	(39)
		〔C 除いた特殊語〕	( <del>7</del> )

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8355.23	manko 〈日常語〉, to:ze, } 〈せりあひ時〉(当方の義) to:zai }	
8373.43	mmayko ) 区別不明 ㊦ to:ze tonyko	
2072.20	mmanuagami	アガミ...子, 子供(支那) アガミ子(吾種子)の略転 八重山語彙 アガミ子
2076.99	immanuutama	ウタマは 子・子供(波留) 八重山語彙

以上

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
216	204	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	( / )
こうま			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0789.95	komma 〈2才位まで〉	toneko 〈生れた年トだけ〉
1739.10	toneko 〈ハツロウは言う〉	kokkomma
1942.03	tōneko 〈商売人、農家は toneko でないか〉	kokkomma, komma
2750.43	トネコ 〈希〉 聞くことかあるか便わぬ。	ゴゴコマ
4628.61	be'ko 〈牛の子馬〉	komma
4643.47	dzo:jaku 〈のり子馬をいう〉	to:ze:mma
4687.01	komma 〈共、新〉	{ mmatko, to:zaetko
4714.22	kokkomakko 〈乳はと最良ではなく馬の子を一般に言う。〉	tō:dzekko 〈一年目のもの〉
4715.33	kokkomakko (221の“子牛”を答えた直後に思いついて答えたもの。)	to:dzaikko (1年目のものを)



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
216	204	(B) 除いた共通語	( 2 )
項目名		(C) 除いた特殊語	
こま			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4724.00	makokko <小さい馬なら一般にこま呼ぶ>	tonekko <1才のたけを言う。2年のたけは nise:kko>
4732.86	komma (214と語形とは同じになる。これは当歳だけでなく漢然と仔馬を指す。)	to:dze:kko
4733.91	komma <ことわ馬一般>	to:dze:ko <生後1年目の子馬>
4734.20	kokkomma <0~3才までのまた仕事をしていない子供の馬>	to:dze:ko <当歳の馬だけ>
4734.56	m makko } <漢然と言う時> kokkomma }	tödze:kko <今年生れたといふことを示す>
4742.43	mmakko <今年生れたとは限らない>	to:ze:kko <今年生れたがに限る>
4742.95	mmakko	tödze:ko <今年生れたがにのみ指す>
4752.11	makko <小さい馬> <1年目という限定には呼ばない>	kokkomma <子供の馬>

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > [ ] は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	A 普通注記	ページ
項目名 こうま		B 除いた共通語	(3)
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4752.27	umakko <一般に、主に3歳の子馬になつたが、厳密に考へると仔馬を指す場合。>	to:dze:ko <正確に1年目を表す場合>
4763.62	komma	to:dze:ko <今年生れた馬のことと強調するとき>
5528.31	dzo:jaku <但し、めの子馬>	komma
5568.57	コマ	トオサイコ 馬に限らない。こし生れた馬、牛、羊なども言う。
5597.78	コマ <子供馬。トオサイと意味は少し違ふ。[生れたばかりの馬]>	トオサイ <1才馬。コマと意味は少し違ふ。[離乳して大きくなるにつれてトオサイと呼ぶようになる。]>
5605.70	komma <共>	to:zae

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	A 普通注記	ページ
項目名 こうま		B 除いた共通語	(4)
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5613.48	tɔ:nekoma (雄馬にフエマ)	tɔ:ne } tɔ:nekkɔ } (こし生れた馬)
5613.53	komma 年若い馬	tɔ:zɔɾ 今年生れたもの
5614.24	komma (上)	tɔ:ne } tɔ:nekkɔ } 多く用いる
5621.43	komma <新>	tʃiŋko <古. 今も使>
5628.23	komma	tɔ:zɔɾ kiko <生れた <sup>た</sup> 馬<
5636.74	コンマ <新>	トオネ <sup>コ</sup> , トオセ <sup>エ</sup> <新>
5638.53	トオネ	トオサ <sup>エ</sup> <29年に生れた馬は 牛にも言う。>
5638.54	コウマ	トオネ <sup>コ</sup> <生れた(馬)の時。>
5646.71	コンマ <新>	ト

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	A 普通注記	ページ
項目名 こま		<input checked="" type="checkbox"/> 除いた共通語	(5)
		<input checked="" type="checkbox"/> 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5652.37	komma 〈新〉	to:neko
5653.08	kouma 〈共〉〈新〉	to:ne
5658.54	コマ	トオサエ 〈ことし生れたばかりの馬、牛 共に言〉
5666.18	コマ, アケニサイ 〈命〉	トオネ 〈ウ〉
5684.26	kouma 〈上〉	[to:ne] <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その馬に上、は初めの子に uino という。</span>
5720.34	トオネ 1, 2オの馬。この普通使われる。	トオサイ 1オまではトオサイという。
5741.66	tomma ……2オ	[to:zame] ……1オ
6422.77	コマコ 〈雄〉	マノコ
6461.27	コマ 新	ウマノコ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	A 普通注記	ページ
項目名 こま		(B) 除いた共通語	(6)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6509.38	コマ	ヒコ < 畜産の馬に限って使われている >
6517.07	ニヒ	?コマ, コマ
6526.04	コマ < 共 >	トオサイ < 仔羊, 仔牛などににも使う > コマ
6539.12	kouma < 今 >	bik·ko } < 昔使った > bik·kōmma }
6600.97	kouma < 共 >	kobittfo < 本島福島の小馬を買ってきたのを見た >
6602.62	dzo:jaku < オナウマのこと >	*to:ne
6610.00	コマ < 共 >	ヒコ < 古希 >
6620.49	[dzo:jaku 女のコマのこと]	{ to:zai, bikko }
6711.60	komma	{ to:zekko } 一年たるとは3回 { to:ze < 奔 > }

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > [ ] は厳密にする。

質問番号 216	地図番号 204	A 普通注記	ページ
項目名 こうま		(B) 除いた共通語	(7)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7346.54	kouma <上>	umayko
7363.12	ウマンコ, コンマ	トオネゴ (今年生れた馬)
7376.62	komma <この年の意味がたう>	to:ze <当年の馬に限る>
7376.68	mmayko	to:ze <1年以内の場合>
7377.72	umayko	tozego <同上>
8305.76	mmayko <子供の馬一般>	tonego <今年生れた当村の子馬>
	以上	